

厚生労働省北海道労働局発表
平成29年4月26日(水)

担 当	厚生労働省
	北海道労働局職業安定部職業安定課
	課長 曾根文儀
	地方労働市場情報官 須貝清張 電話 011-709-2311 (内線 3672)

平成29年度 北海道雇用施策実施方針を策定しました

－北海道労働局と北海道、(独)高年齢・障害者・求職者雇用支援機構との労働政策協定に基づく事業を展開します－

北海道労働局は、このたび、平成29年度の雇用施策実施方針を策定しましたので公表いたします。

北海道雇用施策実施方針は、北海道労働局及び公共職業安定所における雇用施策と北海道の雇用施策が、密接な関係のもとに円滑かつ効果的に実施されるよう、雇用対策法に基づき北海道労働局長が北海道知事の意見を聞いて、当該年度の方針を定めるものです。

当局では、北海道、(独)高年齢・障害者・求職者雇用支援機構及び当局の三者による労働政策協定(平成27年8月)に基づく事業計画を雇用施策実施方針としています。

当局においては、労働政策協定に基づき、これまで以上に三者の緊密な連携協力の下、積極的な事業展開に努めてまいります。

【ポイント】

ポイント1：若年者に対する就職支援等 (P1)

北海道わかもの就職応援センター(愛称「みらいっぽ」)及び道内各地において、若年者支援施策を一体的に実施することにより効果的な就職支援と利便性向上を図るとともに、新規学校卒業者等の就職の実現から職場定着の促進まで一貫して取り組みます。

ポイント2：働き方改革の推進 (P17)

北海道と労働局が実施する業務の運営状況の情報を共有し、企業における働き方の見直しに取り組み、雇用の質の改善を図ります。

・方針の内容は次項を確認

【北海道雇用施策実施方針の内容】

1 多様な働き手に対する就業支援

- ・ 若年者に対する就職支援等
- ・ 女性に対する就職支援
- ・ 高齢者に対する就職支援
- ・ 障がい者の雇用促進
- ・ 季節労働者の通年雇用化の促進
- ・ 道内で就職を希望する留学生への就職支援

2 産業振興と雇用創出の一体的な取組

- ・ 自動車産業などものづくり産業への人材確保支援の強化
- ・ 道内中小企業及び成長分野企業の雇用拡大
- ・ 北海道へのU・Iターンの促進
- ・ 公益財団法人北海道中小企業総合支援センターを通じて行う北海道の産業支援施策と北海道ビジネスサポート・ハローワークが行う雇用施策の一体的実施
- ・ 戦略産業雇用創造プロジェクト事業への協力

3 労働者等の職業能力開発機会の拡大とキャリア形成に向けた支援

- ・ ハロートレーニングにおける入校促進及び就職促進
- ・ 在職者のスキルアップ（総合的在職者訓練相談窓口の活用や事業主支援の取組）
- ・ 地域創生人材育成事業
- ・ 技専とポリテクセンター等との連携による産業人材の育成
- ・ 「北海道地域職業訓点実施計画」の策定

4 就業環境整備の推進

- ・ 働き方改革の推進
- ・ 仕事と家庭の両立に向けた支援
- ・ 労働法制の普及啓発
- ・ 非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善

5 雇用関係情報の共有

- ・ 企業の倒産や進出など雇用量の変動にかかる情報の共有
- ・ 労働力の需給調整にかかる情報の共有
- ・ 統計情報などの共有

6 その他北海道及び労働局がその都度必要と認めた事業

- ・ 雇用保険制度の周知
- ・ 「地域の雇用創出」の推進

平成29年度北海道雇用施策実施方針

「北海道労働政策協定 平成29年度事業計画書」

北 海 道 労 働 局

北海道雇用施策実施方針

北海道雇用施策実施方針は、北海道労働局及び公共職業安定所における雇用施策と北海道の雇用施策が、密接な関係のもとに円滑かつ効果的に実施されるよう、雇用対策法に基づき北海道労働局長が北海道知事の意見を聞いて、当該年度の方針を定めるものです。

当局は北海道と平成24年12月に雇用対策協定を締結し、北海道と連携し道内の雇用対策に取り組んでまいりましたが、平成27年8月に北海道、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構と新たに北海道労働政策協定を締結いたしました。北海道労働政策協定は、北海道の講ずる雇用施策や福祉・教育及び産業振興策等と、当局及び公共職業安定所の雇用施策との緊密な連携を実現するものですが、同協定に基づき策定される事業計画は、雇用対策法の定める雇用施策実施方針に相当いたしますので、当局では厚生労働省と協議して、平成25年度以降は同協定に基づく事業計画を当該方針としています。

目 次

前文

第1 多様な働き手に対する就業支援

1 若年者に対する就職支援等

- 1-1 ジョブカフェ北海道と札幌わかものハローワーク・札幌新卒応援ハローワークが行う若年者支援施策の一体的実施 1
- 1-2 ニート、フリーター等に対する集中支援の実施 2
- 1-3 道内各地におけるジョブカフェ・ジョブサロン北海道とハローワークプラザ等との一体的実施 3
- 1-4 新規学校卒業者等に対する就職支援 3
- 1-5 若年者の早期離職防止対策 4
- 1-6 道内企業等への共同求人要請 5
- 1-7 「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の取組の拡大に向けた協力 5

2 女性に対する就職支援

- 2-1 女性に対する活躍支援 6
- 2-2 託児サービス付職業訓練の普及・拡大 7
- 2-3 女性活躍推進のための分野横断的な情報提供の実施 7

3 高齢者に対する就職支援

- 3-1 生涯現役社会の実現 8
- 3-2 高齢者に対する就業機会の確保・拡大 8

4 障がい者の雇用促進

- 4-1 障がい者の雇用拡大と就職促進 8
- 4-2 障がい者の職場定着促進のための企業支援 9

5 季節労働者の通年雇用化の促進

- 5-1 通年雇用促進支援事業の効果的な実施等 10
- 5-2 季節労働者通年雇用化申告制度の運用 10

6 道内で就職を希望する留学生への就職支援 10

第2 産業振興と雇用創出の一体的な取組

- 1 自動車産業などものづくり産業への人材確保支援の強化 11
- 2 道内中小企業及び成長分野企業の雇用拡大 12
- 3 北海道へのU・Iターンの促進 13
- 4 公益財団法人北海道中小企業総合支援センターを通じて行う北海道の産業支援施策と北海道ビジネスサポート・ハローワークが行う雇用施策の一体的実施 13
- 5 戦略産業雇用創造プロジェクト事業への協力 14

第3	労働者等の職業能力開発機会の拡大とキャリア形成に向けた支援	
1	ハロートレーニングにおける入校促進及び就職促進	14
2	在職者のスキルアップ（総合的在職者訓練相談窓口の活用や事業主支援の取組）	15
3	地域創生人材育成事業	15
4	技専とポリテクセンター等との連携による産業人材の育成	16
5	「北海道地域職業訓練実施計画」の策定	16
第4	就業環境整備の推進	
1	働き方改革の推進	17
2	仕事と家庭の両立に向けた支援	18
3	労働法制の普及啓発	18
4	非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善	18
第5	雇用関係情報の共有	
1	企業の倒産や進出など雇用量の変動にかかる情報の共有	19
2	労働力の需給調整にかかる情報の共有	19
3	統計情報などの共有	20
第6	その他北海道及び労働局がその都度必要と認めた事業	
1	雇用保険制度の周知	20
2	「地域の雇用創出」の推進	20
第7	その他	20

北海道労働政策協定

平成29年度事業計画書

前文

北海道、厚生労働省北海道労働局（以下「労働局」という。）及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下「機構」という。）の間で締結された、北海道労働政策協定（以下「協定」という。）の第4条第1項に基づき、平成29年度において実施する事業を次のとおり定める。

第1 多様な働き手に対する就業支援

【目標】

・みらいっぽ利用就職者数	5,200件（H29）
・新規学卒者（高校）の就職内定率	前年度実績以上
・25～34歳（子育て世代）の女性の就業率	62.5%（H22）（全国平均値63.7%）→全国平均値（H31）
・高齢者（65歳以上）の就業率	16.5%（H26）→21.0%（H31）
・北海道立高等技術専門学院修了生の就職率（施設内訓練）	96.2%（H27）→100.0%（H32）
・障がい者実雇用率（民間企業）	1.9%（H26）→2.0%（H31）
・ハローワークを通じた障がい者の就職件数	前年度実績以上

1 若年者に対する就職支援等

1-1 ジョブカフェ北海道と札幌わかものハローワーク・札幌新卒応援ハローワークが行う若年者支援施策の一体的実施

北海道求職者就職支援センターの若年者支援施策（以下「ジョブカフェ北海道」という。）と札幌わかものハローワーク・札幌新卒応援ハローワーク（以下「わかものハローワーク等」という。）施策を、北海道わかもの就職応援センター（愛称「みらいっぽ」）として、求人情報、訓練情報の提供、職業相談、個別カウンセリングの実施、セミナーや就職面接会等のイベント開催等を一体的に実施することにより効果的な就職支援と利便性向上を図る。

公的職業訓練（以下「ハロートレーニング」という。）を希望する若年者に対し、みらいっぽにおいてハロートレーニングの情報を共有する。

- ・みらいっぽスタッフ間の交流
- ・みらいっぽケース会議の開催

実施体制：ジョブカフェ北海道、わかものハローワーク等

- ・ハローワーク求人情報、ハロートレーニングの情報共有

実施体制：みらいっぽ、職業能力開発促進センター（以下「ポリテクセンター」という。）、職業能力開発大学校（以下「ポリテクカレッジ」という。）、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ジョブカフェ北海道が受付した求人情報をわかものハローワーク等に提供
- ・利用者の共同受付、支援メニューの一体的な提供により利用者ニーズを把握

- ・ 双方の支援メニューの調整、両施設のスタッフによるミーティング等のスタッフ間の交流とケース会議を実施
- (2) 労働局が実施する業務
- ・ ジョブカフェ北海道から提供された求人情報を基に、ハローワーク求人を開拓
 - ・ ジョブカフェ北海道において、ハローワーク求人情報を提供
 - ・ 利用者の共同受付、支援メニューの一体的な提供により、利用者ニーズを把握
 - ・ 双方の支援メニューの調整、両施設のスタッフによるミーティング等のスタッフ間の交流とケース会議を実施
- (3) 機構が実施する業務
- ・ 若年者向けハロートレーニングの情報提供
- (4) 共通の取組
- ・ 求人情報、ハロートレーニング情報等の共有

1-2 ニート、フリーター等に対する集中支援の実施

「みらいっば」利用者の中で、相談過程においてコミュニケーション能力が不足している就職困難者等に対して、札幌わかものハローワークが運営する「しごとサポートプログラム」として、北海道障害者職業センター（以下「障害者職業センター」という。）と連携して、グループワークによるコミュニケーションスキルの向上や就職準備のための支援を実施し、就職による自立支援を図る。

- ・ 「みらいっば」における「しごとサポートプログラム」の実施
実施体制：みらいっば、障害者職業センター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ ジョブカフェ北海道窓口に来所する支援対象者の「しごとサポートプログラム」への誘導
- ・ 「しごとサポートプログラム」の運営に対する助言等協力

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 「しごとサポートプログラム」の企画・運営
- ・ わかものハローワーク等の窓口に来所する支援対象者の「しごとサポートプログラム」への誘導
- ・ 支援対象者の選定
- ・ 関係機関への誘導・連携
- ・ マッチング・就労先の確保

(3) 機構が実施する業務

- ・ 「しごとサポートプログラム」の運営に対する助言等協力
- ・ 支援対象者への職業リハビリテーションカウンセリングの実施

(4) 共通の取組

- ・ 定期的に連絡調整会議を実施し、事業の効果的な運営について、協議する
- ・ あらゆる機会を利用して「地域若者サポートステーション事業」の取組をPR

1-3 道内各地におけるジョブカフェ・ジョブサロン北海道とハローワークプラザ等との一体的実施

ジョブカフェ・ジョブサロン北海道の地方拠点（以下「地方拠点」という。）とハローワークプラザ等（以下「プラザ等」という）における求職者支援業務を一体的に実施することにより、地域において、求人情報、ハロートレーニング情報の提供、職業相談等をワンストップで実施する。

- ・ スタッフ間の交流
- ・ 高校・大学等に対する支援事業の調整

実施体制：地方拠点、プラザ等

※ハロートレーニング情報の提供：ポリテクセンター、ポリテクカレッジ、機構支部

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 地方拠点で受付した求人情報をプラザ等に提供
- ・ 新規登録する利用者の相互取り次ぎ、誘導
- ・ 支援サービス等の調整、両施設のスタッフによるミーティング等の実施

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 地方拠点から提供された求人情報を基に、ハローワーク求人を開拓
- ・ 新規登録する利用者の相互取り次ぎ、誘導
- ・ 支援サービス等の調整、両施設のスタッフによるミーティング等の実施

(3) 機構が実施する業務

- ・ 若年者向けハロートレーニングの情報提供

(4) 共通の取組

- ・ 求人情報、ハロートレーニング情報等の共有

1-4 新規学校卒業者等に対する就職支援

北海道、（総合）振興局、北海道教育庁、教育局、北海道経済産業局、労働局及びハローワークが協力して求人開拓や就職面接会等の就職関連イベントを実施し、新卒者、既卒者、学校中退者等に対する、就職意識の喚起から希望に応じた就職の実現、職場定着の促進まで一貫して取り組む。

- ・ 共同での求人開拓の実施
- ・ 支援メニューの共同提供
- ・ 地元就職面接会等の共同開催

実施体制：（総合）振興局、ハローワーク

- ・ 地域雇用ネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）の開催

実施体制：北海道、（総合）振興局、労働局、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ （総合）振興局は、原則としてネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）を主催し、振興局及びジョブカフェが実施する支援メニューをハローワークに提供
- ・ （総合）振興局及びジョブカフェが実施する支援メニューを、ネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）の場で学校へ周知

(2) 労働局が実施する業務

- ・ ハローワークは、ネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）を（総合）振興局や他の機関とも連携して実施
- ・ 地元就職面接会等の企画・調整
- ・ ハローワークの支援メニューを、ネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）の場で学校へ周知
- ・ 労働局はネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）への参加について、ハローワークに指導、助言。ハローワークはネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）開催に向け各機関と連携

(3) 共通の取組

- ・ 求人開拓の実施、支援メニューの情報共有
- ・ 職場定着に向けた離職状況の実態の把握等
- ・ 地元就職面接会等の開催 PR
- ・ ネットワーク会議（高卒者地元就職促進部会）の開催 PR

1-5 若年者の早期離職防止対策

北海道、（総合）振興局、北海道教育庁、教育局、労働局及びハローワークが連携し、学校、企業や行政など地域が一体となった支援体制を構築し、若年者の早期離職防止に取り組む。

実施体制：北海道、（総合）振興局、ジョブカフェ、北海道教育庁、教育局、労働局、わかものハローワーク等、各ハローワーク、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 若者の地元就職・定着に向けた地域雇用ネットワーク会議の開催・運営（14地域）
- ・ 地域の仕事や企業を知り学ぶ「じもと×しごと発見フェア」の実施
- ・ 若手社員や管理職を対象とした職場定着に関する研修会・セミナーの実施
- ・ ジョブカフェにおける在職者カウンセリングの実施
- ・ ジョブカフェパートナーズ企業へ「若者雇用促進法」の取組を周知
- ・ 北海道主催の会議などで「若者雇用促進法」の取組を周知

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 地域雇用ネットワーク会議への参画
- ・ 「若者雇用促進法」の取組の企業等への周知
- ・ 「特定求職者雇用開発助成金（三年以内既卒者等採用定着コース・長期不安定雇用者雇用開発コース）」の企業等への周知
- ・ ハローワークのジョブサポーターによる定着支援
- ・ 札幌新卒応援ハローワーク在職者窓口による相談支援

(3) 機構が実施する業務

- ・ 地域雇用ネットワーク会議への参画
- ・ 機構主催の会議などで「若者雇用促進法」の取組を周知

(4) 共通の取組

- ・ プログラムにおいて実施する各種セミナー、企業見学会、合同企業説明会、就職面

接会などの共同開催

- ・ 若者や企業への個別支援において専門的な支援が必要な場合の相互誘導と専門相談の実施
- ・ あらゆる機会を利用した企業へのインターンシップ導入の働きかけ、並びに「若者雇用促進法」の取組をPR
- ・ 企業を対象とした各種説明会等での離職問題への意識啓発
- ・ 経済団体、業界団体、学校などに対する各機関の取組、各種助成制度の周知

1-6 道内企業等への共同求人要請

北海道、(総合)振興局、北海道教育庁、教育局、労働局及びハローワークが共同して、道内経済団体、業種別団体、事業主に対し、新規学校卒業者並びに障がい者の就職に関する求人要請を行い、求人確保や障がい者雇用に関する機運の醸成を図る。

- ・ 新規学校卒業者に係るもの
- ・ 障がい者雇用に係るもの

実施体制：北海道、(総合)振興局、北海道教育庁、教育局、労働局、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 経済団体、業種別団体に対する要請の企画・調整
- ・ (総合)振興局において、地域の経済団体に対する要請の企画・調整
- ・ (総合)振興局は必要に応じ、新規学校卒業者に係る事業主に対する要請実施

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 障がい者雇用に係るもののうち、事業主に対する要請については、労働局が企画・調整

1-7 「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の取組の拡大に向けた協力

北海道、(総合)振興局、北海道教育庁、教育局、労働局及びハローワークが共同して、「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の主旨を道内各地に広くPRすることにより、若者の採用に意欲的な中小企業における人材確保を支援し、若者の職場定着の促進や働きやすい職場環境づくりに向けて、若者の就職意欲の喚起等を図る。

実施体制：北海道、(総合)振興局、ジョブカフェ、労働局、わかものハローワーク等、各ハローワーク、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ ジョブカフェパートナーズ企業へ「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の取組の周知
- ・ 北海道主催の企業を参集した会議などで「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の取組の周知
- ・ 職場環境の整備に取り組む企業に対して、専門的なアドバイス

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」の取組及び企業等への周知
- ・ 北海道から情報提供があった企業の、要件確認と「ユースエール認定申請」、「若者応援宣言」の勧奨

- ・ 雇用管理改善、魅力ある職場づくりの普及啓発

(3) 共通の取組

- ・ 「ユースエール認定企業」、「若者応援宣言企業」による合同企業説明会等の開催
- ・ 経済団体・業界団体、企業などに対する雇用管理改善、雇用関係ルールの周知・啓発と若者のワークルールに関する知識の習得に向けての取り組み
- ・ あらゆる機会を利用して「若者応援宣言企業」、「ユースエール認定企業」の取組を PR

2 女性に対する就職支援

2-1 女性に対する活躍支援

女性の活躍の場の拡大に向けて、ジョブカフェ北海道とわかものハローワーク等が連携し、新規学卒の女子学生・生徒の就職支援を行うとともに、マザーズ・キャリアカフェとマザーズハローワーク等が連携し子育てをしながら働きたい女性などを対象に再就職を支援する。

また DV 被害者への就労支援を継続し、DV 被害者の方々の安心で自立した生活確保を支援する。

実施体制：北海道、ジョブカフェ・ジョブサロン北海道、マザーズ・キャリアカフェ、道立女性相談援助センター（以下「女性センター」という。）、労働局、わかものハローワーク等、マザーズハローワーク及び各ハローワークマザーズコーナー（以下マザーズ等）、ハローワークプラザ、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ マザーズハローワークなどにおけるサービスを周知、利用者が希望する場合は誘導
- ・ 再就職を希望する女性に対し、セミナーや職場体験などの就業支援を実施
- ・ マザーズ・キャリアカフェは、子育てをしながら働きたい女性に対し、就職支援サービス等を提供
- ・ 就労希望の女性センターを利用している DV 被害者に、ハローワークによる支援の概要を説明

(2) 労働局が実施する業務

- ・ マザーズハローワークは、ジョブカフェ等の要請により、各種支援サービスメニューを利用者に提供
- ・ マザーズ等は北海道やジョブカフェなどが実施する女性への就労支援サービスを利用者に周知
- ・ マザーズ等は、必要に応じ適切な職業訓練への誘導を行う。
- ・ 女性センターにおいて、DV 被害者が希望した場合、求人情報の提供等の支援

(3) 機構が実施する業務

- ・ 女性が受講しやすい訓練コースを設定し、マザーズ・キャリアカフェやマザーズハローワークに情報提供
- ・ 女性の受講を促す職業訓練の広報
- ・ 女性の離職者を対象とした訓練コースを設置し、女性離職者の再就職を支援する。

(4) 共通の取組

- ・ 女子学生・生徒向けにセミナーなどを共同開催
- ・ DV 被害者の個人情報の保護と守秘義務を徹底
- ・ 相互の施設に DV 被害者支援のリーフレット等を配置し、PR

2-2 託児サービス付職業訓練の普及・拡大

道において実施している託児サービス付き職業訓練の普及・拡大に向け、ハローワーク等の関係機関が連携し、当該職業訓練のニーズの把握や周知を行い、託児サービスを必要とする女性などの訓練受講機会の確保、就業の促進を図る。

実施体制：北海道、マザーズ等、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 平成 27 年度に実施した託児サービス付き職業訓練に関する実施方法や課題等を機構へ情報提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・ マザーズ等での訓練ニーズの把握、情報提供
- ・ 各ハローワークでの周知、受講誘導

(3) 機構が実施する業務

- ・ 道からの情報を得てポリテクセンターでの託児サービス付き職業訓練の実施

2-3 女性活躍推進のための分野横断的な情報提供の実施

マザーズ・キャリアカフェ、マザーズハローワーク札幌及び機構、ポリテクセンター、ポリテクカレッジは、職業カウンセリング、職業相談及び訓練受講中の女性に対し、各種育児に加え、起業・創業の情報などを提供するとともに、他の専門機関の支援策を紹介することにより、迅速で的確な問題解決につなげる。

実施体制：北海道、マザーズ・キャリアカフェ、労働局、マザーズハローワーク札幌、機構、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 就業支援情報、起業、保育、子育て情報、ハロートレーニング情報の提供
- ・ 個別の相談への対応時における他の専門機関の紹介・誘導

(2) 労働局が実施する業務

- ・ マザーズハローワーク札幌が保有する保育情報や女性などに理解のある企業の求人情報の提供
- ・ 個別の相談への対応時における他の専門機関の紹介・誘導

(3) 機構が実施する業務

- ・ 女性の受講を促すハロートレーニングの広報（再掲）
- ・ 訓練受講者への支援機関の紹介・誘導
- ・ 訓練受講者への就職支援

3 高齢者に対する就職支援

3-1 生涯現役社会の実現

年齢に関わりなく働ける社会（以下「生涯現役社会」という。）の実現に向け、高齢者の多様なニーズに対応した就職機会を提供するため、各機関が実施するハロートレーニング、高齢者スキルアップ・就職促進事業を活用し、効果的に高齢者の再就職支援を行う。

- ・ 高齢者スキルアップ・就職促進事業の実施
- ・ 高齢者等の受皿としてシルバー人材センター事業の更なる普及啓発の実施
- ・ ジョブサロンにおけるハロートレーニング情報の提供
- ・ 高齢者の活用促進のための助成金周知等のセミナーの開催
- ・ ハローワーク・マッチングセンター等を活用した助成金の周知

実施体制：北海道、ジョブサロン北海道、労働局、ハローワーク、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 高齢者を対象とした技能講習等の情報を道ホームページで周知

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 技能講習を実施し雇用に繋げる高齢者スキルアップ・就職促進事業を実施
- ・ シルバー人材センター事業における適正就業の確保、会員拡大に向けた支援

(3) 機構が実施する業務

- ・ 生涯現役社会の実現に向けた「地域ワークショップ」の開催
- ・ 機構が支給する助成金の周知広報

3-2 高齢者に対する就業機会の確保・拡大

就業を希望する高齢者の意欲と能力を企業の中で積極的に活かすため、3者が協力して高齢者の就業機会の確保・拡大に努め、高齢者の雇用に係る機運の醸成を図る。

実施体制：北海道、労働局、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 高齢者就業促進パネル展の実施

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 「生涯現役支援窓口」における高齢者に対するチームによる就労支援
- ・ 高齢者の雇入りに係る助成金の周知
- ・ 各ハローワークでは、高齢者求人の確保、充足に努める

(3) 機構が実施する業務

- ・ 生涯現役社会の実現に向けた「地域ワークショップ」の開催（再掲）

(4) 共通の取組

- ・ 3者の広報媒体やPRツールを活用し、企業などに対して事業の周知・啓発

4 障がい者の雇用促進

4-1 障がい者の雇用拡大と就職促進

法定雇用率の達成に向けて、障がい者の雇用を拡大するため、関係機関が連携して就職面接会の開催などに取り組むとともに、特別支援学校生徒の就職を促進するために、特別支援学校とハローワークが、企業開拓から職場定着までを一体となって実施する。（石狩圏道立7校の組織

的な職場開拓システムの継続)

- ・就職面接会の開催

実施体制：北海道、(総合) 振興局、労働局、ハローワーク、障害者職業センター、機構

- ・特別支援学校に対する支援

実施体制：北海道教育庁、教育局、特別支援学校、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・就職面接会の開催周知と、障がい者の採用に意欲のある企業に対する参加の働きかけ
- ・特別支援学校がハローワークからの求人情報を基に、企業を開拓
- ・特別支援学校独自の企業開拓により得た企業情報をハローワークへ提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・就職面接会の企画運営及び周知
- ・特別支援学校生徒が応募できる求人情報などを、適宜特別支援学校に提供
- ・特別支援学校等と連携し、就労支援セミナーを開催

(3) 機構が実施する業務

- ・障がい者及び企業に対する就職面接会への参加勧奨
- ・就職面接会の運営に係る補助（運営スタッフ派遣）及び協力（相談ブース設置協力）
- ・企業に対する障害者雇用納付金制度等の周知広報

(4) 共通の取組

- ・関係機関との連絡や、広報活動などについて密接に連携

4-2 障がい者の職場定着促進のための企業支援

既に企業に雇用されている障がい者の職場定着に関して相談・支援ニーズ等が把握された際には障害者職業センターがハローワーク等との連携の下、個別企業に対する相談・支援に当たる。

また、3者がそれぞれ障がいに関する企業の理解を促進するため幅広い情報発信、働きかけにより、精神障がい者等の雇用の安定を図る。

- ・相談・支援、情報発信等の実施

実施体制：北海道、労働局、障害者職業センター

(1) 北海道が実施する業務

- ・企業を対象とした説明会等を共催するほか、普及・啓発など広報を支援
- ・企業の個別ニーズ等について機構に情報提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・企業の個別ニーズ等について機構に情報提供
- ・ハローワークと機構との連携による企業支援
- ・企業を対象とした説明会等を企画する場合の機構との講師派遣調整

(3) 機構が実施する業務

- ・個別企業への障がい者の職場定着促進のための相談・支援の実施
- ・企業を対象とした種々の説明会等への講師派遣
- ・説明会等における情報発信の調整

(4) 共通の取組

- ・ 北海道・（総合）振興局、労働局、ハローワーク、機構・障害者職業センターが実施する説明会等の情報共有化を図り、3者連携して情報発信を進める

5 季節労働者の通年雇用化の促進

5-1 通年雇用促進支援事業の効果的な実施等

通年雇用促進支援事業の効果的な実施を図るため、通年雇用促進支援協議会を対象とした事業説明会や研修会等を開催するとともに、通年雇用促進支援事業に携わる関係職員がハロートレーニングについての知識を習得し、季節労働者をハロートレーニングへ適切に誘導するため、ポリテクセンター見学会を開催する。

また、通年雇用化に係る地域の取組を促進するため、地域懇談会を開催し、行政、経済団体、労働団体等で地域の季節労働者対策に関する意見交換等、情報交換を行う。

- ・ 通年雇用促進支援事業の効果的な実施

実施体制：北海道、労働局

- ・ ポリテクセンター見学会の開催

実施体制：（総合）振興局、ハローワーク、機構

- ・ 季節労働者対策に関する意見交換・情報の共有

実施体制：（総合）振興局、各ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 地域懇談会（意見交換会）を開催

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 通年雇用促進支援事業に係る通年雇用促進支援協議会に対する委託業務の指導

(3) 共通の取組

- ・ 「通年雇用促進支援事業説明会」を開催
- ・ 「通年雇用促進支援事業雇用支援員等研修会」を開催
- ・ 「ポリテクセンター見学会」を開催

5-2 季節労働者通年雇用化申告制度の運用

北海道が発注する工事等の競争入札参加資格審査における技術・社会的要素の審査項目として、季節労働者の通年雇用化の進展を評価することにより、季節労働者の通年雇用化を促進する。

実施体制：北海道、（総合）振興局、労働局

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 事業者から提出された申告書の内容確認を行い、通年雇用化の進展を評価

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 通年雇用化の進展を判定するために必要な申告事業者の雇用者に係る雇用保険被保険者数を確認

6 道内で就職を希望する留学生への就職支援

ハローワーク及び新卒応援ハローワークの留学生コーナーにおいて留学生に対する就職支援を

行うとともに、「みらいっぽ」が実施するカウンセリングや就職支援セミナーなどの支援メニューを提供する。合同企業説明会、就職面接会、及びセミナーの開催などに取り組み、留学生の就職促進と道内中小企業の人材確保の支援を行う。

- ・ 合同企業説明会・就職面接会の開催
実施体制：北海道、労働局、札幌新卒応援ハローワーク
- ・ 未内定留学生に対するフォローアップ研修の実施
実施体制：北海道、札幌新卒応援ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 大学に対し、留学生の就職状況について調査を実施
- ・ ジョブカフェによるカウンセリング、セミナー、合同企業説明会などによる支援
- ・ 留学生に対する企業説明会・就職面接会の実施

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 留学生が在籍する道内の大学・大学院に対し、新卒応援ハローワークの留学生コーナーを周知し、登録を促進
- ・ 新卒応援ハローワークの留学生コーナーによる職業相談等の支援
- ・ 留学生を求める求人企業への外国人雇用に関するアドバイス、セミナーの実施
- ・ 留学生に対する企業説明会・就職面接会の実施
- ・ 日本語が不得意な留学生に対しては、ハローワーク札幌の外国人サービスコーナーと連携を図り相談を行う
- ・ 外国人留学生採用サポート事業の実施

(3) 共通の取組

- ・ 合同企業説明会及び就職面接会を実施
- ・ 企業向けセミナーの実施

第2 産業振興と雇用創出の一体的な取組

【目標】

- ・ 製造業の付加価値生産性 931万円（H25）→1,280万円（H31）
- ・ U・Iターン合同企業説明会来場者数 過去3年平均177.0人→180人以上（H29）
- ・ 北海道ビジネスサポート・ハローワーク及び（公財）北海道中小企業総合支援センターの相談事業所（者）数 1,000社（人）（H289）
- ・ 北海道ビジネスサポート・ハローワークにおいて、（公財）北海道中小企業総合支援センターと相互に誘導した事業者数 100社（H29）
- ・ 北海道ビジネスサポート・ハローワークにおいて、（公財）北海道中小企業総合支援センターと相互に誘導した事業者数のうち、求人申込及び助成金申請件数 年間50件（H29）

1 自動車産業などものづくり産業への人材確保支援の強化

本道経済の牽引役を担う自動車関連産業をはじめとしたものづくり産業における求人の充足を図り、人材の確保に向けた効果的な支援を実施し、人材育成機関の活用とマッチングの強化により、ものづくり産業における人材の確保を図る。

実施体制：北海道、北海道立高等技術専門学院（以下「技専」という。）、ジョブカフェ北海道、ハローワーク、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ

(1) 北海道が実施する業務

- ・ ものづくり現場の見学やものづくり企業の女性社員による出前授業などを実施
- ・ ジョブカフェ北海道において産業理解セミナーを実施
- ・ 技専などの人材育成機関においての人材育成
- ・ ハローワークで実施する管理選考の周知を行う

(2) 労働局が実施する業務

- ・ ハローワークにおける管理選考の実施等による、ものづくり産業におけるマッチングの強化
- ・ 人材ニーズを踏まえた求人企業への求職者情報の提供
- ・ 求職者に対する求人の情報提供及びハローワークで実施する管理選考の周知

(3) 機構が実施する業務

- ・ 求人者に対する訓練受講者人材情報の提供
- ・ 求人者のニーズに応じたものづくり人材育成の支援

(4) 共通の取組

- ・ 合同企業説明会とのタイアップなどによるものづくりの魅力 PR

2 道内中小企業及び成長分野企業の雇用拡大

北海道と労働局が有する雇用助成金等の支援施策（以下「助成金等」という。）の効果的周知を行うとともに、北海道の企業の進出情報の共有を図ることにより、ハローワークでの速やかな求人確保と早期充足の支援に結び付け、地域の雇用改善を図る。

実施体制：北海道、（総合）振興局、労働局、各ハローワーク、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 北海道は労働局へ、（総合）振興局は管轄ハローワークへ企業進出や規模拡大に伴う情報を提供（情報提供は、企業側の同意を得た場合に限り）
- ・ 個別面接会等を設定する際の場所の確保や広報など開催支援
- ・ 北海道が開催する会議等において、労働局職員による助成金等の周知の場を提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 北海道及び（総合）振興局から得た情報を基に企業側に相談を働き掛け、求人を開拓
- ・ ハローワークでの充足計画に必要であれば、北海道の各機関に協力依頼
- ・ 北海道が開催する、会議等において助成金等を周知

(3) 機構が実施する業務

- ・ 高年齢者、障害者の雇用に関する助成金等の周知

(4) 共通の取組

- ・ ホームページを通じた助成金等の周知

3 北海道へのU・Iターンの促進

高度技術者等を必要とする道内求人企業と、道内へのU・Iターンを希望する道外の求職者とのU・Iターンフェアを東京都において2日間開催しU・Iターン人材の誘致促進を図る。

実施体制：北海道、労働局、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ フェア参加企業の取りまとめ
- ・ 道U・Iターンインターネットシステム登録企業への参加募集・取りまとめ
- ・ 道U・Iターンインターネットシステム登録求職者への周知や道が実施や参加するU・IターンイベントにおけるPR
- ・ フェアにおける道U・Iターンインターネットシステムなどの周知

(2) 労働局が実施する業務

- ・ フェア開催に係る求職者への周知、会場の確保
- ・ 東京労働局との連携によるPR
- ・ フェア開催時の職業相談及びフェア後の継続的な支援の実施

(3) 機構が実施する業務

- ・ ハロートレーニング情報の提供（道内、フェア開催地域）

(4) 共通で実施する業務

- ・ U・Iターンフェアを周知・広報

4 公益財団法人北海道中小企業総合支援センターを通じて行う北海道の産業支援施策と北海道ビジネスサポート・ハローワークが行う雇用施策の一体的実施

北海道の産業施策と労働局の雇用施策の一体的な取組において、中小企業者等に係る経営相談に併せて助成金等雇用支援制度の周知・活用などをワンストップで行うことにより雇用の創出を図る。

実施体制：公益財団法人北海道中小企業総合支援センター(以下支援センターという。)、北海道ビジネスサポート・ハローワーク、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 中小企業者等に対する経営相談や情報提供、資金貸付等について支援センターを通じた北海道の各種支援施策等を実施
- ・ その他産業施策と労働局の雇用施策の一体的な取組の推進に資する業務の検討

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 厚生労働省が所管する各種助成金や支援施策に関する情報提供、相談、申請案内
- ・ 中小企業者等からの求人の受理と、求職動向の提供

(3) 労働局が委託により実施する事業

- ・ 職場見学会等の開催
- ・ 合同企業面接会等（合同企業説明会含む）の開催
- ・ U・Iターンフェアの開催（再掲）
- ・ 新卒者・中途採用者採用企業意向調査

(4) 機構が実施する業務

- ・ ビジネスサポート・ハローワークを活用した助成金制度の周知

5 戦略産業雇用創造プロジェクト事業への協力

北海道と労働局が協力し、事業の効果を高めるよう努め、安定的かつ良質な雇用の場の創出を目指す。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 本事業の周知について各ハローワークに協力を依頼

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 求人者が提出された際には十分に努め、求人者へ条件面でのアドバイス
- ・ ハローワークは本事業について企業から相談があれば、北海道へ連絡

(3) 共通の取組

- ・ 本事業について随時協議を深め連携を強化

第3 労働者等の職業能力開発機会の拡大とキャリア形成に向けた支援

【目標】

- ・ 地域創生人材育成事業に係る雇用創出数 217名 (H29)

1 ハロートレーニングにおける入校促進及び就職促進

技専及び障害者職業能力開発校（以下「技専」及び「障害者校」という。）等が連携し、非正規労働に就いている学び直し若年者などの入校促進に取り組むとともに、ハローワークが協力して訓練ニーズの提供、適切なハロートレーニングへの誘導、及び訓練修了者の就職支援を実施することにより、効果的なハロートレーニングの実施及び訓練受講者の就職促進を図る。

- ・ 地域における職業訓練ニーズを踏まえた訓練コース設定
実施体制：技専、障害者校、労働局、ハローワーク、機構、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ
- ・ 公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズ「ハロートレーニング～急がば学べ～」を活用した積極的な周知と効果的な運用

実施体制：北海道、技専、障害者校、労働局、ハローワーク、機構、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ、障害者職業センター

- ・ 求人情報及び就職面接会等の情報提供

実施体制：技専、障害者校、ハローワーク

- ・ ハローワーク職員による職業相談等の実施

実施体制：技専、障害者校、ハローワーク

- ・ 訓練受講者情報の提供

実施体制：北海道、技専、障害者校、労働局、ハローワーク、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 労働局から提供される訓練ニーズ情報を踏まえた訓練コースの設定

- ・ ハロートレーニングの実施予定情報を労働局へ提供
- ・ 道民への広報による効果的なハロートレーニングの実施の実施
- ・ 訓練受講者に対しハローワークでの職業相談を勧奨
- ・ 訓練施設でハローワーク職員が実施する、職業相談等について、多くの訓練受講者が利用できるよう調整
- ・ 訓練修了時等の就職状況に係る情報を労働局に提供
- ・ 障害者職業センターとの連携による障がい者訓練の検討

(2) 労働局が実施する業務

- ・ ハローワークで得た訓練ニーズ情報を北海道へ提供
- ・ 提供されたハロートレーニング情報を労働局のホームページに公開
- ・ 技専、障害者校への入校を勧奨し、適切な受講あっせんを実施
- ・ 提供された受講者情報に基づき、ハローワークへの来所勧奨、就職支援を実施

(3) 機構が実施する業務

- ・ 労働局、ハローワーク等が有する求人・求職ニーズを踏まえた訓練コースの設定
- ・ ハロートレーニングの実施予定情報を労働局、ハローワークへ提供
- ・ ハロートレーニングについての広報、効果的な実施
- ・ 訓練修了時の就職状況に係る情報を労働局に提供
- ・ 北海道が実施する障がい者訓練の検討への協力

2 在職者のスキルアップ（総合的在職者訓練相談窓口の活用や事業主支援の取組）

北海道と機構及び労働局による雇用施策の一体的な取組として、中小企業者等に係る経営相談に併せて、従業員のキャリアアップを図る各種制度や助成金等雇用支援制度の周知・活用などをワンストップで行うとともに、機構が人材育成に関する相談・ポリテクセンターにおける在職者訓練・民間委託による在職者訓練などの事業主支援事業を実施することにより、優秀な人材の確保や在職者のスキルアップ・定着を図る。

実施体制：北海道、労働局、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 能力開発セミナーや、認定職業訓練の実施状況、事業主支援の取組などに関する情報提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 総合相談窓口において、事業主に対する助成金等に関する活用を相談や機構が実施する事業主支援の取組に関する情報提供

(3) 機構が実施する業務

- ・ 総合相談窓口において、機構が実施する能力開発セミナーの案内
- ・ 窓口相談事業主のニーズに基づくオーダーメイド型能力開発セミナーの開発、実施
- ・ 事業主等に対する人材育成に関する相談・支援
- ・ 民間委託による在職者訓練の実施

3 地域創生人材育成事業

本道の基幹産業である「観光」、「食品」、関連産業の裾野が広い「ものづくり」、地域経済を支える「建設」などの分野における人手不足に対応するため、既存のハロートレーニングの枠組みでは対応できない人材育成の取組を通じて、安定的な人材の確保を図る。

- ・ 北海道観光を支える人材の育成・確保事業
- ・ 北海道の食品製造業を支える人材育成事業
- ・ ものづくり人材育成事業
- ・ 自動車整備士及び建設関連人材育成事業

実施体制：北海道、労働局、機構

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 事業の実施主体（事業計画の策定、地域人材育成協議会の運営、事業実施）

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 地域人材育成協議会への参画
- ・ ハローワークにおける、訓練受講者の就職支援

(3) 機構が実施する業務

- ・ 地域人材育成協議会への参画
- ・ 訓練カリキュラム策定時における指導・援助

4 技専とポリテクセンター等との連携による産業人材の育成

地域ニーズに対応した人材育成強化を図るため、技専とポリテクセンター等との連携により、ハロートレーニング及び指導員研修を実施する。

- ・ 技専、機構の資源を活用したハロートレーニング及び指導員研修の実施
実施体制：技専、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ
- ・ 技専、ポリテクカレッジへの入校促進における協力
実施体制：技専、ポリテクセンター、ポリテクカレッジ

(1) 北海道が実施する業務

- ・ ハロートレーニング及び指導員研修の実施
- ・ 機構のハロートレーニングへの実施協力（会場貸与等）
- ・ 合同パンフレット作成協力

(2) 労働局が実施する業務

- ・ ハロートレーニングに関する検討において、求職者ニーズのデータ提供等

(3) 機構が実施する業務

- ・ ハロートレーニングの実施
- ・ 道のハロートレーニング及び指導員研修の実施協力（講師派遣等）
- ・ 合同パンフレット作成

5 「北海道地域職業訓練実施計画」の策定

労働局、機構及び北海道が実施しているハロートレーニングについて、三者が連携し、ハロートレーニングの総合的な計画として「北海道地域職業訓練実施計画」を策定し、受講者や訓練実施機関への利便を図る。

実施体制：北海道、労働局、機構、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 訓練計画（案）の策定状況等の情報提供
- ・ 受講あっせんを行うハローワーク向け訓練内容等の資料の提供
- ・ ハローワークで実施している求職者向け説明会でのハロートレーニング情報の提供等

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 訓練ニーズの把握、情報提供
- ・ 「北海道地域職業訓練実施計画」の策定
- ・ 公共職業訓練（離職者等訓練）と求職者支援訓練の一体的な情報提供

(3) 機構が実施する業務

- ・ 総合計画策定にあたっての訓練実施計画の情報提供
- ・ 求職者支援訓練の実施を希望する民間教育訓練機関への職業訓練計画の周知

第4 就業環境整備の推進

【目標】

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| ・ 年間総労働時間 | 2,021 時間 (H25) → 2,000 時間 (H31) (注) |
| ・ 北海道あったかファミリー応援企業登録数 | 263 社 (H26) → 500 社 (H31) |

1 働き方改革の推進

労働者が心身の健康を確保しつつ、仕事と生活の調和を図ることができるよう、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進など、企業における働き方の見直しに取り組み、雇用の質の改善を図る。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 過重労働等の情報を把握したときは、必要に応じて、情報提供者の同意を得た上で、労働局に情報を提供
- ・ 「ほっかいどう働き方改革支援センター」の運営状況などの情報を労働局に提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 北海道働き方改革の促進のための取組方針に基づき、道内全体における働き方の見直しに向けた気運の醸成
- ・ 「北海道最低賃金総合相談支援センター」及び「北海道非正規雇用労働者待遇改善支援センター（仮称）」の運営状況などの情報を北海道に提供

(3) 共通の取組

- ・ 休暇の取得状況など働き方に関するデータの収集・分析
- ・ 企業トップや労使団体に対する働きかけや、各種セミナー、会合等における普及啓発

(注) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」事業所規模30人以上

2 仕事と家庭の両立に向けた支援

男女がともに仕事と家庭の両立を実現できるよう、育児・介護休業制度等の普及や取得促進をはじめとする両立支援や女性の職業生活における活躍の推進に取り組み、誰もが安心して働くことができる職場環境の整備を図る。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 北海道あったかファミリー応援企業登録企業や、女性の活躍推進に取り組む企業として知事が認定した北海道なでしこ応援企業の情報を労働局に提供
- ・ 北海道あったかファミリー応援企業登録企業に対し、くるみん・プラチナくるみん認定制度等の周知

(2) 労働局が実施する事業

- ・ くるみん・プラチナくるみん認定制度についての情報提供
- ・ 女性の活躍推進に取り組む企業として北海道知事が認定した北海道なでしこ応援企業については、当該企業が希望する場合、ハローワークの求人票に認定企業である旨を表記

(3) 共通の取組

- ・ 仕事と家庭の両立支援に関する法制度や支援施策の普及啓発

3 労働法制の普及啓発

これから社会に出て働く若者等が、働く際の権利や義務について知ることができるよう、労働法制に関する基本的な知識の普及啓発に取り組み、雇用をめぐるトラブルの防止を図る。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 高校生等に対する出前講座の実施
- ・ 働く若者ルールブックの作成・配布

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 大学や高校等が実施する講義やセミナーへの積極的な講師派遣

(3) 共通の取組

- ・ 出前講座の実施対象校等について情報共有

4 非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善

北海道、(総合)振興局、労働局及びハローワークが共同して、非正規雇用労働者の正社員への転換の拡大、働き方に見合った処遇の確保、ハロートレーニングなどによるスキルアップ機会の提供など企業における雇用管理改善の取組の促進を図る。

実施体制：北海道、労働局、ビジネスサポート・ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 非正規雇用労働者の正社員化・処遇改善に向けた調査及び改善例等の普及啓発
- ・ 非正規雇用労働者の労働条件改善を促進するためのアドバイザーの派遣
- ・ 在職者に対する職業訓練を通じたスキルアップの支援

(2) 労働局が実施する業務

- ・非正規雇用労働者の正社員転換や処遇改善を行う事業主及び企業内での非正規雇用労働者の人材育成に取り組む事業主に対して「キャリアアップ助成金」の活用促進
 - ・ビジネスサポート・ハローワークにおいて在職者訓練、助成金にかかる相談をワンストップ窓口で対応
- (3) 共通の取組
- ・経済団体等への周知・啓発

第5 雇用関係情報の共有

1 企業の倒産や進出など雇用量の変動にかかる情報の共有

倒産や雇用調整などにより大量の離職者が発生する場合や、企業の進出などにより大量の労働者を必要とする場合などにおいて、連携して情報の収集、連絡調整及び必要な対策を行い、離職者の早期就職等支援や連鎖倒産の防止、求人の確保と早期の充足を図る。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局、ハローワーク、ポリテクセンター

(1) 北海道が実施する業務

- ・大量雇用変動等に係る情報収集及び情報提供
- ・「緊急雇用対策プログラム」の実施
- ・説明会、相談会の開催など関係機関との調整
- ・ハロートレーニングの実施や勤労者福祉資金の貸付
- ・経営環境変化対応貸付の適用、経営・金融特別相談室の設置など、連鎖倒産防止対策の実施
- ・企業の進出等雇用創出情報の収集及び労働局への提供
(情報提供は、企業側の同意を得た場合に限り)

(2) 労働局が実施する業務

- ・大量雇用変動や雇用調整等に係る情報収集及び情報提供
- ・北海道労働局大量雇用変動等対策本部会議の開催
- ・大量雇用変動や雇用調整に対応した就職支援
- ・再就職支援に当たっての関係機関との連携

(3) 機構が実施する業務

- ・職業訓練ニーズに応じた機動的なハロートレーニングの実施
- ・説明会等におけるハロートレーニング情報の提供

2 労働力の需給調整にかかる情報の共有

雇用失業情勢の改善に伴う人手不足の現状を的確に把握するため、労働力の需給に関する情報の共有を図り、また、人手不足の業界が人材の確保に取り組む場合には、その取組に対して北海道と労働局が連携し、雇用施策を通じた支援に努める。

実施体制：北海道、(総合)振興局、労働局、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・人材確保のための取組や人手不足に関する情報を入手した場合、労働局、ハローワークに提供

(2) 労働局が実施する業務

- ・ ハローワーク単位の求人、求職のデータを提供し、業種、地域などでの求人・求職情報を北海道に提供

3 統計情報などの共有

相互に所掌する統計資料などの雇用関連情報について、現状分析や今後の雇用施策に活かすことができるよう早期に提供し、対策の早期取組を目指す

実施体制：北海道、労働局

第6 その他北海道及び労働局がその都度必要と認めた事業

1 雇用保険制度の周知

雇用保険制度が雇用のセーフティネットとしての機能を適正に果たすため、北海道及び各（総合）振興局に雇用保険制度に関する各種パンフレット等を配置するなど、道民一般並びに事業主等に対する更なる周知により、制度の一層の周知を図る。

実施体制：北海道、（総合）振興局、労働局及びハローワーク

2 「地域の雇用創出」の推進

雇用機会が不足している地域や事業者に対し、実践型地域雇用創造事業や、地域雇用開発助成金の活用を促し、雇用創出の推進を図る。

実施体制：北海道、（総合）振興局、労働局、ハローワーク

(1) 北海道が実施する業務

- ・ 本事業についての周知を行い、市町村の動向を労働局に提供
- ・ 雇用開発促進地域の対象となっていない地域が新たに要件を満たした場合は、積極的に地域雇用開発計画の策定に努める

(2) 労働局が実施する業務

- ・ 本事業についての周知を行い、関心を示した市町村に対しては必要なアドバイスを行い、地域雇用創造計画の策定を促す
- ・ 地域雇用開発助成金の周知と、的確な支給

(3) 共通の取組

- ・ 随時情報交換を行い連携を強化
- ・ 地域の雇用創出のため、地域雇用開発助成金を積極的に周知

第7 その他

道、労働局及び機構が、協定第3条第1項に基づき、必要な要請を行う場合は、具体的な施策の内容又は実施手法等について提示するものとし、道、労働局及び機構は、当該提示の内容が産業及び雇用施策並びに労働行政の運営に関する諸法令又はこれに基づく運用に抵触しない場合には当該提示の内容を効果的に実施する観点から、誠実に対応するものとする。